

# 防災かわら版

第8号

ま さ か は 必 す や っ て く る

北海道庁務総部危機対策局危機対策課防災啓発標語

ご挨拶

とちち防災マスターネットワーク

代表 大塚徹

令和と言った年号が馴染み始めました。平成は初めて戦争が無かった時代と言われておりますが、大災害が多発した時代でもありました。令和となり戦争が無いことは勿論、災害が皆無であることを望むものですが、人為的な紛争と違い、自然が相手ではそれは努力では防げません。ならば出来るだけのハード対策でも、想定外の災害には無力に等しく、いつ来るかわからない災害対策には無尽蔵のお金もかかります。

それを頭に入れると公の助けも限られていると言ったことであり、我々ができうることは災害が起きた時、自助・共助であることは周知の事と思えます。

その想定外の災害にも減災するべく、防災住民意識向上が防災マスターの役割であることとは言ってもありません。

今年は我が帯広十勝にも十数年に一度の震災の恐れがあります。防災知識を常に向上し、その知識を住民の皆様にも少しでもお知らせし減災に貢献していこうではありませんか。

本年の会員の皆様の更なるご活躍をお祈り致します。



防災対策の力

## \* 令和元年度 7月～1月までの活動実績

月	日(曜)	活 動 内 容	場 所	マスター数	参加数
7	25(木)	令和元年度総会	とちちプラザ視聴覚室	24名	27名
7	28(日)	音更町桜ヶ丘西自主防災会防災講座・訓練	音更町雄飛が丘会館	1名	28名
8	25(日)	令和元年度帯広市地域防災訓練	帯広市立帯広第4中学校	3名	860名
9	15(日)	2019オビヒロホコテン	オビヒロホコテン会場	10名	名
9	17(火)	音更町立木野東小学校防災学習	音更町立木野東小学校	2名	100名
10	9(日)	音更町西9区町内会防災講座	木野西区9町内会館	1名	20名
12	16(月)	帯広市親子防災講座「避難所運営ゲーム」Doはく	帯広市立緑園中学校	7名	123名
1	25(土)	令和元年度帯広市冬季防災訓練	帯広市立川西中学校	4名	120名



ネットワーク活動への願い

副代表 保前 明美  
副代表 谷口 榮子

いよいよ2020年が始まりました。ネットワーク会員の皆様、本年もどうぞ宜しくお願い致します。異常気象の続く中、毎年想定外の災害に見舞われる我が国ですが、自分の身近な所でもいつ起こっても不思議ではありません。

私達はその危機意識を常に持ち、いざという時のとっさの判断、とっさの対応が必要とされています。そのためにも私達マスター一人一人が地域の防災リーダーとして活躍出来ることを心から願います。

どうか、皆様本年も会員相互理解を深め、研鑽を重ね、更なる活動へと繋げて行きますように。よろしくお願ひします。

研修部部长 佐藤 春雄  
次長 安田 愛子

令和元年、十勝では大きな災害もなく落ち着いた一年でした。令和2年も地域の皆さんが安心・安全に過ごす事が出来ますように願うばかりです。しかしながら、災害はいつ起きるかわかりません。

私達は志があって防災マスターの認定を受けたわけですから初心を忘れることなく、19市町村に住んで生活している人達のためにも自学研鑽し最新の知識と行動力を持って、それぞれの地域をサポートできるように努力して行きますように。

研修部がお手伝いさせていただきます。

帯広市防災訓練風景



親子防災学習



総務部部长 林 裕美子  
次長 安岡 俊博

最近、地域温暖化等の影響が、予想を超える災害が発生しています。3・11以降各地で地震、豪雨、土砂災害、河川の氾濫等がひんぱんで「自分は大丈夫」「ここは安全だ」と思い込みをした時点で想定外の災害が来た時にはアウトです。どうか、自分を、家族を、地域を守り、生き延びる為に備蓄品の準備や地域で開催される防災行事等に参加し、防災減災の知識を学び、「コミュニケーション」を築いて欲しいと思います。被害を最小限にするには、行動、知識、知恵をつけマスターの方々にはそれぞれの地域の為に積極的に参加していただきたいと思います。

事業部部长 樋野 義雄

次長 久我 佳子

今年こそは災害のない年になって欲しいものです。事業部の任務は、防災イベントの計画・実施で、ホコテン、市の防災訓練などに合わせて防災イベントを実施すること、マスター相互の親睦を図ることなどです。

今年も皆さんの協力をお願いします。経験を積み、研修会等に積極的に参加して共に防災マスターとしてのスキルを上げて行きましょう。

ホコテン活動点描



冬季防災訓練



《編集後記》

「防災かわら版」8号をお届けします。

「災害は忘れられた頃にやってくる」はもはや死語に近い。昨今、防災・減災活動の絆でつながっている私たち。この広報誌を作るの言い出しっぺとして気になっていること。「絆への想い、届いているかな」 ⑧・⑨



とち防災マスターネットワーク

北海道胆振東部地震の際、外国人の方々がどのように避難したらよいか分からず困ったことや、ホテルが宿泊客の退室を求めた事案があった等、災害難民が出たことは記憶に新しいところです。

今年には東京オリンピックイヤー。札幌市でマラソン・競歩・サッカーが行われることになり、札幌市は勿論、道内各地に諸外国の方がお越しになる可能性が高くなります。

災害時における訪日外国人避難誘導対応と、英語・中国語・韓国語、ちょっと学んでおきませんか？

## STEP1 発災直後

大きな地震などの災害が発生、最初の揺れが収まってから「何が起こったのか」、「どうするか」簡潔に周囲に伝え、緊急避難場所へ誘導します。

### ① 準備開始

- 備品を用意（メモ欄確認）
- 施設本部に状況確認



### ② 声をかけ、状況を説明

- ここは危険です。

英 It is dangerous here.  
デンジャラスヒア

中 这里很危险（這裡很危險）  
ジョーアリーヘンウエイシエン

韓 이곳은 위험합니다  
イゴスンウィホマニダ



### ③ 誘導を開始

- 私についてきてください。

英 Follow me.  
ファオロミー

中 跟着我走吧（跟著我走吧）  
ゲンジュオウオゾウバ

韓 따라 오세요.  
ツタラオセヨ



### ④ 状況により連携機関に支援要請

誘導や救助などの協力を依頼します。

